

2014年9月30日

京都府議会議長 多賀 久雄 様

日本共産党京都府会議員団  
団 長 前窪 義由紀

## 京都府議会の正常な運営を求める緊急申し入れ

本日、9月定例議会の本会議が開かれることとされています。

この間、府議会議長の諮問を踏まえ、公開の場である議会改革検討小委員会で今年三月から「京都府議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区の議員の定数に関する条例」にかかわる議員定数について論議を積み重ねてきました。その結果、小委員会の場で自民党会派から京都市内の議員定数を10減とし、他の会派からは現行のままとする意見を踏まえ、「調整が整わず」とする報告書が議長に提出されたところ です。

ところが、本日予定している本会議で、自民党会派が定数条例を独自に提案し、それを強行しようとしていることは、府民的にまともに論議もせず、また議会改革検討小委員会報告とも全く違うもので、看過できない重大な問題です。

また、自民党会派の提案は、宇治市及び久世郡選挙区定数を1増、左京区選挙区を1減とするものですが、これまでの議会改革として積み上げてきた人口比例原則及び一票の格差の是正という大原則に背く内容で、左京区選挙区は、これまで一度も検討小委員会で論議されたものではなく、しかも一票の格差を拡大するもので全く道理がないものです。

よって、京都府議会議長として、党利党略による提案がされることがないように、対応していただくことを緊急に申し入れるものです。

以上